

登別・白老（虎杖浜）地域 マリンビジョン通信

第8号 平成27年12月発行

発行：登別・白老地域マリンビジョン協議会
事務局 登別市観光経済部農林水産グループ
〒059-8701
北海道登別市中央町6丁目11番地
電話 0143-85-2321
FAX 0143-85-8286
E-mail agri@city.noboribetsu.lg.jp

登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョンを改訂しました

北海道における全国への水産物供給基地としての役割を、将来に渡り守り育てていくことをコンセプトに策定された「北海道マリンビジョン21」が、昨今の水産業を巡る情勢変化等に対応するため、平成25年6月に改訂されました。



【協議会の様子】

これを受け、北海道マリンビジョン21で示した将来像の実現のため、当地域においても主体的な取り組みを行うことで、水産業を核とした地域振興を目指していく計画である「登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョン」を、有識者や漁業関係者、観光関係者、漁港利用者、まちづくり団体、行政が協議を重ね、平成27年3月に、情勢に即した内容へと改訂しました。

改訂内容は、現在実施している衛生管理や鮮度保持の取り組みを更に強化し、PRしていくことでの登別漁港産水産物の付加価値向上を図っていくこと、また、東日本大震災を教訓に、漁業者や地域住民の生命・財産を守るための準備や対策に取り組んでいくことなどを柱としています。

登別漁港を整備しています！

現在、登別漁港は、平成25年に採択された新たな「特定漁港漁場整備事業計画」に基づき、国直轄での整備が行われています。

この事業は平成25年度から平成34年度までの10年を計画期間とし、外郭施設や係留施設、水域施設など、様々な施設の整備を実施していきます。

具体的には、老朽化が著しい旧港区側の整備として、耐震性確保や衛生管理強化、また、作業環境改善を図るため岸壁や物揚場、航路護岸、漁港内道路の改良を、駐車場等の用地不足解消を図るため人工地盤の整備を実施し、一方、既に供用が開始されている新港区側の整備として、越波を防止し、静穏度対策を図るとともに、港内航行船舶や係留船舶の安全を確保するため防波堤の改良や突堤の整備、航路・泊地の浚渫等を実施していく予定です。



【作業中の旧港区】

「登別海鮮直市」 10年の歴史に幕

登別漁港産水産応援団の拡大と都市交流による地域の活性化を目的に、平成18年にスタートした登別海鮮直市は、開始から10年の節目を迎え、一定の成果が得られたことから、10月25日（日）の開催をもって全ての営業を終了しました。

最終日は水産物の販売のほか、登別市が行う「エゾシカ肉普及推進事業」とタイアップし、ジンギスカン風の味付けをした、登別市内で捕獲したシカ肉や、登別漁港で水揚げしたスケトウダラの三平汁を、来場者を対象に無償で振る舞うイベントも行い、大変盛況でした。

今後の直販体制については、現在、関係機関と検討中です。



【登別海鮮直市 最後の営業】